

**製品名: リン酸化 Rb (Ser780) ウサギモノクローナル抗体****カタログ番号: AMRe02872**

研究使用のみ

**概要**

|        |  |
|--------|--|
| 説明     | 組換えウサギモノクローナル抗体  |
| 宿主     | うさぎ  |
| 応用     | WB,IHC   |
| 反応性    | 人間、ネズミ   |
| 標識     | 非共役  |
| 修飾     | リン酸化   |
| アイソタイプ | IgG  |
| クローン性  | モノクローナル  |
| 形態     | 液体   |
| 濃度     | 0.5mg/ml。本製品の濃度はロットによって異なる場合があります。                                   |
| 保存     | アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。                     |
| 輸送     | 氷袋   |
| バッファー  | 50mM トリスグリシン（pH 7.4）、0.15M NaCl、40%グリセロール、0.01%アジ化ナトリウム、0.05%保護タンパク質 |
| 精製     | アフィニティー精製  |

**応用**

|      |  |
|------|--|
| 希釈倍率 | WB 1:500-1:1000,IHC 1:50-1:100               |
| 分子量  | Calculated MW: 106 kDa; Observed MW: 110 kDa |

**抗原情報**

|              |   |
|--------------|---|
| 遺伝子名         | RB1   |
| 別名           | RB1; Retinoblastoma-associated protein; p105-Rb; pRb; Rb; pp110 |
| 遺伝子 ID       | 5925  |
| SwissProt ID | P06400  |
| 免疫原          | 標的タンパク質の残基に対応する合成リン酸化ペプチド                                       |

**背景**

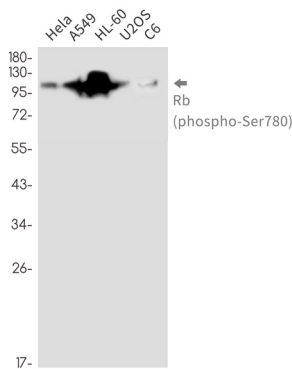
CDKによる細胞周期依存性のリン酸化は、Rb 標的への結合を阻害し、細胞周期の進行を可能にします。Rb の不活性化とそれに続く

細胞周期の進行には、サイクリン D-CDK4/6 による最初のリン酸化と、それに続くサイクリン E-CDK2 によるリン酸化が必要であると考えられます。in vitro では、様々な CDK/サイクリン複合体の特異性が観察されており、in vivo ではサイクリン D1 が Ser780 のリン酸化に必須です。

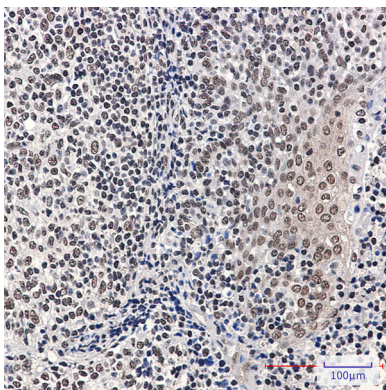
## 研究分野

細胞生物学

## 画像データ



Phospho-Rb (Ser780) 抗体を使用した、Hela、A549、HL-60、U2OS、C6 溶解物中の Rb (Phospho-Ser780) のウェスタンプロット分析。



Rb (Phospho-Ser780) 抗体を使用したパラフィン包埋ヒト扁桃腺の免疫組織化学分析。抗原賦活化には高圧高温クエン酸ナトリウム pH 6.0 を使用しました。